

褥瘡対策チーム

■褥瘡対策チームとは

褥瘡対策チームは、各医療職種と協働し、院内における褥瘡発生を予防し、褥瘡に対し早期より適切なケア及び治療を行っており、医師 1 名、看護師 6 名、薬剤師 1 名、管理栄養士 1 名、理学療法士 1 名、作業療法士 1 名で構成されています。

■チーム活動の内容

1) 褥瘡のある患者のベッドサイドでの回診

毎週 1 回/週 褥瘡のある患者のベッドサイドで回診を行っています。医師より処置方法の見直しや理学療法士・作業療法士によるポジショニングの検討を行っています。回診後にはカンファレンスを行い、栄養状態については管理栄養士と NST との連携を図っています。

2) 褥瘡評価・管理

全入院患者を対象に、危険因子の評価を行っています。危険因子評価にて危険因子がある患者または日常生活自立度 B ランクから C ランクへ変化した患者に対して、看護計画立案を行っています。

■褥瘡予防寝具について

患者さまの状態に合わせ、体圧分散マットレス・エアマットを使用しています。

■チーム活動の様子

